

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

記

- 1 会議名 土岐商業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月17日 (金) 13:20～15:20
- 3 開催場所 土岐商業高等学校 会議室
- 4 参加者 学校運営協議会委員
藤田裕子 藤田陶器株式会社 代表取締役
鈴木辛 東海旅客鉄道株式会社土岐市駅 駅長
佐野栄子 土岐地区更生保護女性会 理事
伊藤諭美 前土岐商業高等学校育友会 母親委員長
竹下啓太 あいちビジネス専門学校 校長 (欠席)
平野昇 土岐市土岐口財産区 議長 (欠席)
学校側
服部幸広 校長
吉田孝夫 事務長
村橋昌則 教頭
溝口美智代 教務部長
近藤大貴 生徒指導部長
千葉かをり 進路指導部長
伊藤陽介 商業部長

5 会議の概要 (司会)

- ・課題研究発表会参観 (体育館)

意見1: 社会に出てすぐに実践できる内容で非常に素晴らしい。

意見2: 地域連携で土岐商の生徒と関わったことがあるが、本当に素晴らしい生徒ばかりで私の会社に就職してほしい。

意見3: 興味のあることに対して、自由な発想で考えている。

意見4: どのような生徒が小論文を選択しているのか。

⇒基本的には大学入試で小論文が課される者で、論理的に文章を書く能力がついている。

意見5: 小論文対策では、時事問題について意見を出し合う活動は、社会に目を向けるのに非常に良いことである。続けていただきたい。

意見6: 販売実習の発表を聞いたが、楽しく活動している様子が見える。モノを売る以外のメリットが多くあるのではないかと。

⇒学習したことを実践する場として重視している。顧客との関わりだけでなく、一緒に販売している業者ともコミュニケーションをとれるなど、生徒にとって貴重な体験ができている。

(1) 校長挨拶

- ・課題研究発表会の参観、ありがとうございました。
- ・職員全員でこの1年を振り返る反省会を実施しました。来年度に向けた提案等出されました。本日、学校

運営協議会委員の方のご意見も取り入れて学校運営にあたりたいと思いますので忌憚のないご意見を聞かせてください。

(2) スクール・ミッションについて (教頭)

- ・前回、検討いただいたものを教育委員会へ提出し、文章表現等みていただいて訂正されたものが以下に示してある。

「地域や企業等と連携・協働した学びを推進する商業高校として
最新の専門知識と実践的なビジネススキルの修得を通して
地域について考え、支えることができる人材の育成を目指す学校」

意見1：将来という文言が削除されたのはなぜか。

⇒おそらく、在学中から地域について意識してほしいからだと思います。

意見2：地域に根差した商業高校として求められている内容でありとても良い。

- ・次年度、このスクール・ミッションを生徒へ周知するとともに、これを目指して教育活動を行っていく。

(3) 各分掌より令和6年度の成果と課題の発表

- ・令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画に沿って教育活動を実施した。

<学習指導>

- ・家庭学習習慣化のため学習時間調査を実施
→定期テストで学習時間と素点が比例しており、働きかけが必要である
- ・年2回簿記週間として資格取得に向けた特別時間割を実施
→資格取得に向けた意欲向上につながった
- ・授業研究週間を設定し、授業研究、生徒アンケートによる授業改善の実施
→各教科の特徴をいかしたICT機器の活用ができ、生徒の理解度は上がっている
- ・資格取得に向け外部人材の活用
→高度資格取得者の増加
- ・地域連携の推進
→学習したことを実践する場として、生徒に多くの経験を積ませたい

<進路指導>

- ・卒業生と語る会、キャリアガイダンス、インターンシップ等のキャリア教育を実施
- ・多治見法人会や厚生労働省委託事業による就職ガイダンスの実施
- ・小テスト、小論文模試、外部模試等の実施と活用
→継続的な取組を通して進学・就職試験の際に必要な力を身に着けることができた
- ・就職希望者は51名全員内定、進学希望者は12月末時点で95%以上決定

<生徒指導・特別活動>

- ・商業のビジネススキルとして挨拶、身だしなみ、遅刻防止を生徒に呼び掛けている
- ・交通安全指導ではヘルメット着用を推進し、1年次に自転車通学者はヘルメットの購入を義務付け
→ヘルメット着用率は向上
- ・生徒の悩みを早期に発見し対応できた
→悩みの内容が複雑化しており、全職員での協力体制を整える必要がある
- ・部活動は本校の柱として推進
→ウエイトリフティング部がインターハイや国体で入賞、ワープロ部が全国大会で団体6位、個人3位、吹奏楽部が東海大会で2年連続金賞など各部、素晴らしい成績を収めている。今後、情報発信に努めたい

<来年度に向けての改善方策等>

- ・スクール・ミッションやスクール・ポリシーを生徒に明確に示し、地域連携や資格取得の重要性を意識さ

せる。

- ・生徒にとって「分かる授業」を展開することが大切。ICT 機器の効果的な活用方法や授業方法などの教員研修を充実させたい。
- ・情報提供を適切に行い、早い段階で将来の進路について意識させる。
- ・地域の方、特に中学校及び中学生に対し、商業高校の取組について知っていただくことが大切。今後、HP や SNS を使った情報発信に努める。また、中学生の体験会など充実させるとともに、出前授業など中学校へ出向いた活動を展開したい。

意見 1：教育相談などきめ細かい援助ができています。

意見 2：地域連携で様々な活動をされているが、さわやかウォーキングに土岐商業も参加できないか。

⇒過去には参加した実績がある。時期的にインターハイ予選の時期と重なるが、前向きに検討したい。

意見 3：卒業生と語る会に参加する方は、卒業後何年の方がでられるか。

⇒原則、高校卒業後 4 年たった人に案内をかけるようにしている。進学者は大学卒業後の内定先が決まっている方はその話もできる。

意見 4：ヘルメットの着用について、着用率はどれくらいか。また、自費で購入しているか。

⇒昨年度は 2.3%。今年度は調査できていないが、推進校として自転車通学者には入学時にヘルメットを購入させるなどしているので確実に着用率は上がっている。しかし、女子の着用率が低い現状がある。

⇒ヘルメットのデザインも自由にして自費で購入させている。

意見 5：ヘルメット購入の費用を負担しても、着用することを嫌がる生徒は多いと思う。しかし、命を守るためにも根気強く指導していただきたい。

意見 6：部活は全員加入制ではないということだが、どれくらいの生徒が活動しているか。部活動は学生の今しかできないことなので皆に頑張ってほしい。

⇒99%程度は活動している。ダンスなど校外での活動があるため入部しない者や、途中で退部する者も若干名いる。しかし、転部を進めるなど、部活動は本校の教育活動として重要視している。

⇒中学校の部活動は外部委託をするなど様変わりしている。

意見 7：校内販売はどのように行っているか。

⇒1 2 月に焼き芋販売を実施した。本来は機械を借りて調理し販売する予定であったが、急遽借りることができず、調理されたものを仕入れて販売した。

⇒1 2 月のもとてらすでの販売実習においてつながりができたパン屋と連携して、商品開発したものを 1 月に校内販売するように動いている。

意見 8：中学校へ出前授業ができたらいい宣伝になるのではないか。

⇒今年度、出前授業の案内はかけてあったが申し込みがなかった。案内の方法や内容を検討して次年度は開催したい。

意見 9：毎年、吹奏楽部の定期演奏会を楽しみにしています。

6 まとめ

- ・課題研究発表会に参加していただき、生徒の研究成果を見ていただいた。引き続き、生徒の探究活動や発表、表現する場を大切に指導に力を入れていく。
- ・スクール・ミッションについて全委員の理解を得ることができた。地域や企業と連携した学びの場を提供するとともに、最新の専門知識とビジネススキルの修得を通して、地域について考え、支える人材の育成に努めていきたい。
- ・それぞれの立場から、土岐商に関する印象と今後に期待されることなどを頂き、来年度に向けた学校運営に生かしていきたい。
- ・3 回にわたる令和 6 年度学校運営協議会が無事に終了することが出来た。委員から頂いたご意見やご指導を踏まえて、令和 7 年度の学校運営に着手していきたい。